2026年11月27日

原料費調整制度に基づく2027年1月検針分のガス料金について

（東京地区等）

東京ガス株式会社

1. 一般料金契約

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m³	料金表B 21～80m³	料金表C 81～200m³	料金表D 201～500m³	料金表E 501～800m³	料金表F 801m³～
基本料金 (円/月)	909.00	1,206.00	1,382.00	2,042.00	6,442.00	12,602.00
調整単位料金 (円/m³)	198.88	184.03	181.83	178.53	169.73	162.03
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m³)	202.88	188.03	185.83	182.53	173.73	166.03
(参考) 12月 調整単位料金	198.60	183.75	181.55	178.25	169.45	161.75

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m³(45MJ/m³)	2026年 12月	2027年 1月 *1	増減
適用料金(円/月)	6,718	6,726	8

【参考】補助金適用前

2027年 1月 適用料金	補助金適用前後の差
6,846	120

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、4円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2026年7月～2026年9月 の平均 (12月検針分)	2026年8月～2026年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格 (a)	117,370	122,160	4,790
LNG	116,780	121,780	5,000
LPG	113,880	116,390	2,510
基準平均原料価格(b)	86,100		
差額(a-b)	31,200	36,000	4,800

・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。

・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	121,780	×0.9088
＋ LPG平均原料価格(貿易統計値)	116,390	×0.0987

122,161.35

↓(10円未満四捨五入)

122,160 円/t

■原料価格変動額の算定

122,160 円/t ― 86,100 円/t ＝ 36,060 円/t

↓(100円未満切捨て)

36,000 円/t

■単位料金調整額(m^3あたり調整額)の算定

単位料金調整額 ＝ 36,000 円 /100円×0.0891[*2]

＝ 32.07 円[*3]

*2 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m^3あたり調整額)の算定（補助金適用後）

単位料金調整額 ＝ 32.07 円 - 4円 ＝ 28.07 円

（補助金適用後）

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

本体料金(税込) ＝ 基本料金(1,206.00円)

＋ 調整単位料金(155.96円 ＋ 28.07 円）×30m^3

基準単位料金（税込）↑ ↑単位料金調整額(税込)

＝ 6,726 円 ・本体料金は小数点以下切捨て

［参考］

原料費調整制度の概要

・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m^3あたりの単価を調整する制度です。

・「基準平均原料価格（86,100円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m^3あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。

・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。

・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。